

懇日本モノレール協会設立趣意書

ご承知の通り、わが国の交通事情は、近時、急激な変化をとげつつあります。特に、大都市の交通は、通勤通学等の輸送需要が急増し、もはや現存の鉄道や、自動車数の異常な増加により、著しく能率の低下した路面交通によっては、その需要を充足することは不可能となり、早急に何らかの対策を講ずる必用に迫られております。

ご当局におかれても、都市交通対策として、地下鉄道網、高速自動車道の整備、郊外私鉄の都心乗入れ、主要道路の立体交差化等を強力に推進され、年々その効果があらわれてきております。

しかしながら、これら従来の方式は、建設費の高騰、用地の確保難等多くのあい路に直面しており、今や、何らかの新しい方式による交通機関の実現が待望されているところであります。

このような状況の下において、昨今、第三の交通機関としてモノレールが脚光を浴びております。

このモノレールは、地下鉄に比し建設費が安く、工期が短かく、かつ、高性能で、今後の都市交通難の解決策としてきわめて有効適切な交通機関であり、世界各国においても、近時その研究開発が強力に進められているところであります。

また、モノレールは観光地帯等における旅客輸送施設としても、豪雪地帯における輸送手段としても活用される可能性が多く、この面でのモノレール建設も、今後有望な事業となることが、十分予測されます。

このような観点から、私共は、有志相計り、新に「社団法人日本モノレール協会」を設立して、各種事業を行ない、わが国特有な都市交通事情、地形、気候等に適したモノレールについて種々研究を進め、強力に、その普及発達をはかり、もって、わが国交通事業の発展に寄与しようとするものであります。

昭和 39 年 5 月 8 日